

**DERWENT-ACC-NO:** 1996-367384

**DERWENT-WEEK:** 199637

**COPYRIGHT 2005 DERWENT INFORMATION LTD**

**TITLE:** Sunshade for window of vehicle - has foldable pleat type shade main body moving vertically along guide rail

**PATENT-ASSIGNEE:** ASHIMORI IND CO LTD[ASHO]

**PRIORITY-DATA:** 1994JP-0336165 (December 21, 1994)

**PATENT-FAMILY:**

<b>PUB-NO</b>	<b>PUB-DATE</b>	<b>LANGUAGE</b>	<b>PAGES</b>	<b>MAIN-IPC</b>
<u>JP 08175174 A</u>	<u>July 9, 1996</u>	<u>N/A</u>	<u>003</u>	<u>B60J 003/02</u>

**APPLICATION-DATA:**

<b>PUB-NO</b>	<b>APPL-DESCRIPTOR</b>	<b>APPL-NO</b>	<b>APPL-DATE</b>
<u>JP 08175174A</u>	<u>N/A</u>	<u>1994JP-0336165</u>	<u>December 21, 1994</u>

**INT-CL (IPC):** B60J003/02

**ABSTRACTED-PUB-NO:** JP 08175174A

**BASIC-ABSTRACT:**

**The sunshade has a guide rail (10) arranged along vertical direction of the window. A base edge part (21) is installed at the upper edge part of the guide rail. A shade main body (20) is of foldable pleat type. A stay (30) is provided with guidance to both ends of the installation for moving the shaft main body along the guide rail.**

**A leading hole (22) is formed in the shade main body through which a guide (40) pierces through. The shade main body folds one above the other and moves in the vertical direction along the guide rail.**

**ADVANTAGE - Eliminates winding device for shade main body, thereby reducing cost.**

**CHOSEN-DRAWING:** Dwg.1/2

**DERWENT-CLASS:** Q12

**BEST AVAILABLE COPY**

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平8-175174

(43)公開日 平成8年(1996)7月9日

(51)Int.Cl.

B 60 J 3/02

識別記号

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

K

審査請求 未請求 請求項の数2 FD (全3頁)

(21)出願番号 特願平6-336165

(22)出願日 平成6年(1994)12月21日

(71)出願人 000117135

芦森工業株式会社

大阪府大阪市西区北堀江3丁目10番18号

(72)発明者 桜井 章生

大阪市東淀川区上新庄3-1-3-1406

(72)発明者 七原 秀夫

大阪府堺市浅香山町2-8-10

(72)発明者 花谷 孝男

大阪府茨木市沢良宜西1-3-211

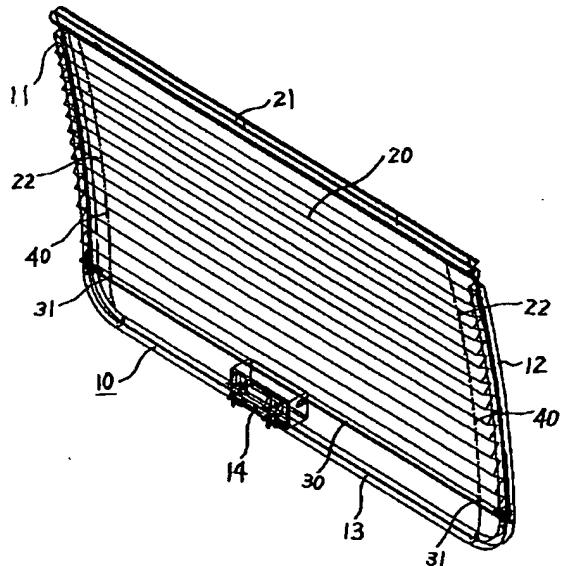
(74)代理人 弁理士 福井 陽一

(54)【発明の名称】 サンシェード装置

(57)【要約】

【目的】卷取装置を必要とせず、極めて簡単且つ安価なサンシェード装置を提供する。

【構成】窓の上下方向に配置したガイドレール10と、ガイドレールの上端部に基端部21が取り付けられ、アーリツ加工を施して折り重ね可能としたシェード本体20と、シェード本体の先端部に取り付け両端部がガイドレールに沿って誘導案内されるステイ30とを有し、ステイ上にシェード本体を折り重ねて収容できるようとする。また、折り重ねたシェード本体に連通する連通孔22を形成し、連通孔にガイド部材40を挿通する。



REST AVAILABLE COPY

1

2

## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 窓の上下方向に配置したガイドレールと、ガイドレールの上端部に基端部が取り付けられ、アリーツ加工を施して折り重ね可能としたシェード本体と、シェード本体の先端部に取り付け両端部がガイドレールに沿って誘導案内されるステイとを有し、ステイ上にシェード本体を折り重ねて載置できるようにしたことを特徴とするサンシェード装置。

【請求項2】 折り重なったシェード本体に連通する連通孔を形成し、連通孔にガイド部材を挿通したことを特徴とする請求項1記載のサンシェード装置。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、車両等の側面の窓に配置され、ガイドレールに沿って窓の上下方向にシェード本体を移動させるサンシェード装置に関する。

## 【0002】

【従来の技術】従来、巻取装置に巻回収納されるシェード本体の先端部にステイを取り付け、このステイの両端部をガイドレールに沿って移動させる車両用サンシェード装置として、出願人は、実願平5-53650号に係る考案を提供した。そして、このものは、シェード本体を所望の長さ引き出して、ステイをガイドレールの所望の位置に固定すると、余分な量のシェード本体は巻取装置の巻取力により巻回収納され、シェード本体が窓に沿って配置されるようにしたものである。

## 【0003】

【発明が解決しようとする課題】前記従来例においては、シェード本体を巻取り収納するための巻取装置が必要であった。そのため、サンシェード装置の構造が複雑になると共に、高価なものとなっていた。

【0004】本発明は、従来の技術の有するこのような問題点に鑑みてなされたものであり、その目的とするところは、巻取装置を必要とせず、極めて簡単な構造のサンシェード装置を提供しようとするものである。

## 【0005】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するために、本発明におけるサンシェード装置は、窓の上下方向に配置したガイドレールと、ガイドレールの上端部に基端部が取り付けられ、アリーツ加工を施して折り重ね可能としたシェード本体と、シェード本体の先端部に取り付け両端部がガイドレールに沿って誘導案内されるステイとを有し、ステイ上にシェード本体を折り重ねて載置できるようにしてある。また、折り重なったシェード本体に連通する連通孔を形成し、連通孔にガイド部材を挿通してある。

## 【0006】

【作用】シェード本体を使用しないときは、ステイがガイドレールの上端部に位置し、アリーツ加工を施したシェード本体は、自重でステイ上に折り重なった状態で載

置して収納される。シェード本体で窓を覆うときは、窓の上下方向に配置したガイドレールに沿ってステイを引き下げるとき、シェード本体の基端部がガイドレールの上端部に取り付けられているので、ステイ上に折り重ねて載置されているシェード本体が順次伸ばされて窓を覆うこととなる。また、折り重なったシェード本体に連通する連通孔を形成し、連通孔にガイド部材を挿通することにより、シェード本体はガイド部材に規制され、シェード本体の折り重ね状態が崩れることなく、シェード本体をスムーズに展開させることができる。

## 【0007】

【実施例】実施例について図面を参照して説明する。図1は本発明に係るサンシェード装置の斜視図、図2はシェード本体の断面図である。

## 【0008】

ガイドレール10は、車両等の内壁側面の窓枠部分に、窓の上下方向に取り付けられる。図1に示す実施例においては、ガイドレール10は、左側部11、右側部12、及び下側部13により構成してある。しかしながら、本発明におけるガイドレールはこれに限られるものではなく、少なくとも窓の高さ方向に沿って配置される左右両側部があればよい。ガイドレール10には、ガイド溝(図示せず)を形成してある。そして、ガイド溝内には、駆動部材(図示せず)を摺動可能に配設してある。

【0009】窓を覆うシェード本体20は、その縦長さを窓の縦長さより長く形成する。シェード本体20には、左右方向(ガイドレール10の左右両側部11、12方向)に、アリーツ加工を施してあり、上下方向に折り重ね可能としてある。シェード本体20の横幅は、ガイドレール10の左右両側部11、12間の間隔より若干短く形成すればよい。

【0010】シェード本体20は、その基端部21をガイドレール10の上端部に取り付けてある。シェード本体20には、シェード本体20を折り重ねた状態において、上下方向に連通する連通孔22を形成してある。この連通孔22は、シェード本体20の少なくとも2箇所、例えばシェード本体20の両側縁部において連通するように形成すればよい。

【0011】シェード本体20の先端部には、ステイ30が取り付けられている。ステイ30には、折り重ねた状態のシェード本体20の連通孔22に対応する部位に、後述するガイド部材40を通すための孔31を形成してある。

【0012】ステイ30の両端部は、ランナ(図示せず)を介して駆動部材に取り付けられている。そして、モータ14を駆動させると、駆動部材がガイドレール10内を摺動し、両端部を駆動部材に連結されたランナが移動することによって、ランナに取り付けられたステイ30がガイドレール10に沿って誘導案内され、シェード本体20がステイ30に案内されることとなる。尚、

図示例においては、駆動部材をモータ14により電動駆動するようにしてあるが、手動によりステイ30を移動するように構成してもよい。

【0013】ガイド部材40は、シェード本体20の連通孔22に挿通して配設してある。そして、ガイド部材40は、ガイドレール10の左右両側部11、12と略平行となるように配設してある。ガイド部材40は、その一端をシェード本体20の基端部21に、他端をガイドレール10の下側部13に、夫々固定すればよい。このガイド部材40は、紐、ワイヤ等を使用すればよい。

【0014】本発明に係るサンシェード装置においては、巻取装置を設けていないので、窓を覆わない余分な量のシェード本体20は、ステイ30上に折り重なって載置することとなる。そのため、シェード本体20をガイド部材40に支持されるように構成すると、折り重なったシェード本体20が崩れることがない。そして、シェード本体20は、ガイド部材40に規制されつつ、スムーズに展開移動することとなる。

【0015】次に、本発明に係るサンシェード装置の操作方法について説明する。シェード本体20を使用しないときは、ステイ30がガイドレール10の上端部に位置し、ブリーツ加工を施したシェード本体20は、自重でステイ30上に折り重なった状態で載置して収納される。シェード本体20で窓を覆うときは、モータ14を作動させることにより、駆動部材に牽引されてステイ30がガイドレール10に沿ってガイドレール下側部13方向に移動し、ステイ30上に折り重ねて載置されているシェード本体20が順次引き伸ばされて窓を覆うこととなる。このとき、シェード本体20は、ガイド部材4

0に規制されているので、シェード本体20の折り重ね状態が崩れることなく、シェード本体20をスムーズに展開させることができる。

【0016】シェード本体20を引き上げる場合は、モータ14を逆回転させる。シェード本体20の基端部21はガイドレール10の上端部に取り付けられており、シェード本体20は、ガイド部材40に規制されつつ、その先端部より順次ステイ30上に折り重なって載置し、ガイドレール10の上端部に収納することができる。

### 【0017】

【発明の効果】本発明は、上述の通り、ブリーツ加工を施したシェード本体をステイ上に折り重ねて載置できるようにしてあるので、シェード本体の巻取装置が不要であり、構造が簡単で安価なものとすることができます。また、シェード本体をガイド部材で規制することによって、車両走行時の振動や風圧等により、シェード本体の折り重ね状態が崩れたり、シェード本体がバタついたりすることがない。

### 【図面の簡単な説明】

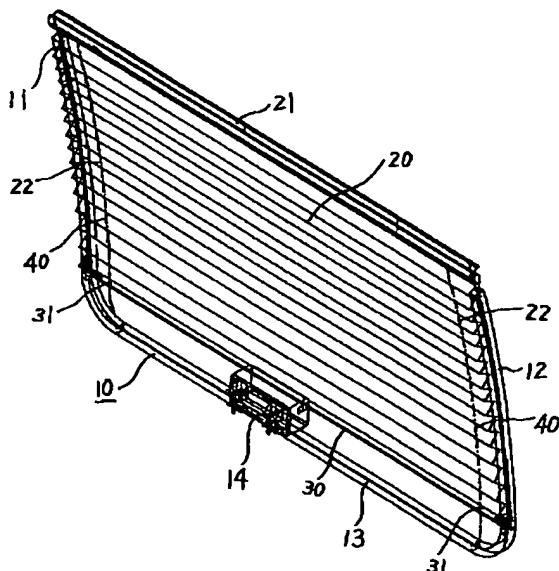
【図1】本発明の実施例の装置の斜視図である。

【図2】シェード本体の断面図である。

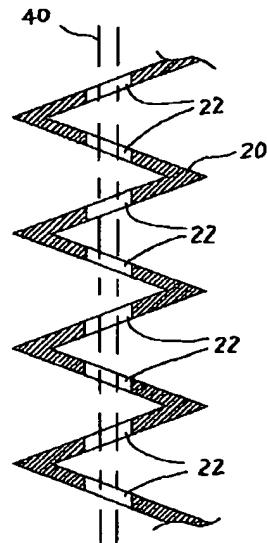
### 【符号の説明】

10	ガイドレール
20	シェード本体
21	シェード本体基端部
22	連通孔
30	ステイ
40	ガイド部材

【図1】



【図2】



REST AVAILABLE COPY